

各種審議会等審議結果公表シート

会議の名称	平成26年度第2回中津川市博物館等協議会
開催日時	平成27年2月18日（水）15時20分～16時40分
開催場所	中津川市鉦物博物館 研修室
出席者の役職名	委員7名（うち遅参委員1名） 教育長・文化スポーツ部長・文化振興課長・鉦物博物館長（兼苗木遠山史料館長兼青邨記念館長）・中山道歴史資料館長・子ども科学館長・東山魁夷心の旅路館長・遠山史料館副館長・鉦物博物館館長補佐・学芸員・文化振興課学芸員2名
話し合われた内容 （会議録又は 審議概要）	<p>1 教育長あいさつ</p> <p>2 協議会長あいさつ（協議会長欠席につき省略）</p> <p>3 協議事項</p> <p>（1）報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度各館事業報告 各館長が説明（資料―1） 鉦物博物館長が説明（資料―4） <p>資料の追加説明</p> <p>【子ども科学館】 成果の1点目は、展示物のリニューアルと増設に力を入れ、40余の展示物のリニューアルができて、来館者の多くから大変楽しかった、又来たいというような意見をいただき、スタッフの大きな励みになっています。</p> <p>2点目は、来館者数が昨年度より増加しているということ、リピーターが増えているということです。</p> <p>課題は大きく3点ございます。1点目は、施設の老朽化に伴い雨漏り箇所、故障する設備の増加です。修繕の予算がなく手の施しようがないことが、喫緊の課題です。</p> <p>2点目は、来館者のマナーの向上を図ることです。特に問題のあるケースとしては、親が子どもを野放しにしていることです。2つ目は子どもが走り回っていたり、乱暴に扱っていても注意しないこと。3つ目は使ったら使いっぱなしです。4つ目は館内でガムをかんだり、飴をなめたりして入館することです。やはりお客様であっても間違っていることははっきり注意・指導することは科学館の役割であると考えています。</p> <p>3点目は、説明書きがいろいろありますが、全く無視してめっちゃめっちゃな操作をする。そのためにいつも修理しなければなりません。これは科</p>

学館だけでなく全体的な課題かと考えています。

このような課題解決に向けての取り組みを今後も進めていきます。

【中山道資料館】 成果と課題に絞って説明します。

配布資料の写真にある通り、学校の子供たちが多く来てくれるようになりました。しかしまだまだ少ないので、わかり易く歴史を伝えていきたいと考えています。

次に、資料館は一つだけではどうにもなりませんので、それぞれの商店や商工会議所、色々なところと協力しながらいろいろな組み合わせの中で活動していくつもりです。

本町の景観協議会という所があり、名古屋工業大学と協力してまちづくり活動をしています。そのことをうちの資料館を使ってもっとアピールするということで宣伝させていただきました。

課題としては、来館者が増えたので職員が足りなくなりました。ボランティアを養成したり、現在のスタッフを向上して、説明やいろいろなことができるようにしていきたいと考えます。

もうひとつは、中山道歴史資料館の館名には「歴史」がついていますので、市内の学校の社会の授業に大きく関わりたいと考えます。学校で先生の代わりに授業を行ったり、資料を集めたりというように、何かあったら頼りにされる資料館にしていきたいと考えています。

【質 疑】

【委員】 前回の協議会で遠山史料館のトイレの対応についての話がありました。人が沢山来るとトイレに困ると。現在も変わらずやっておられるのかどうなっていますか。

【事務局】 遠山史料館のトイレについては、現在も変わっていませんが、市において苗木城跡に現在トイレを建設中です。城跡に上がられた方はそのトイレを活用していただくことになり、3月末には完成の予定です。

【委員】 各館とも限られた予算の中で、入館者を増やす努力をしておられ、子ども科学館においては手作りですべての展示がされています。

子どもたちの扱いが乱雑と言う話がありましたが、本当に何をするか分からないということもありますので、とにかく安全をきちっと対応できるようにやっていただきたい。

それから、できるだけわかり易い、5秒か10秒で子ども達が理解できるというような展示や、説明ができるようになると良いと思います。

鉱物博物館ですが、鉱物はいろいろ工業製品に利用されていますので、どのように使っているかということも関連付けて説明すれば面白いと考えます。工業製品、日常製品にどのように鉱物がつかわれているかを説明すればいいのではないかと考えます。

【事務局】 子ども科学館に、末松先生の顕彰室がありますが、展示物はな

かなか難しく、私どもが見てもわからない状況になっています。新年度でわかり易いチラシなどを作っていきよう計画しています。

【委員】 去年光ファイバーを実際に動かす装置を箱だけ作ってあって、あれを実際に動かすような装置を一年かけて作っていきよう話がありましたね。

【事務局】 末松先生が当初実験された装置を再現できたらということで、それも27年度で出来るように計画しています。

【事務局】 鉱物博物館では、鉱物と産業製品とのかかわりについては、再来年度以降の企画展で取り上げたいと考えています。東濃地方は焼き物の産地ですが、焼き物の産地になった大きな理由はこの辺りが花崗岩地帯で、花崗岩から粘土ができ、いわゆる陶土層が形成されたことがバックグラウンドになっています。まだ具体的に内容を詰めているわけではありませんが、構想としてあります。

【委員】 この近くで取れた長石が焼き物の上薬として使われていたということがあります。

(2) 協議事項

①平成27年度文化スポーツ部の方針と重点（案）

末木文化振興課長、安彦鉱物博物館長が説明（資料—2）

【質 疑】

【委員】 中山道資料館の資料を見て、僕も社会の教科に活かせないかと考えていました。4月の終わりから5月に市の教科別の研究会がありますので、社会の教科の先生にお渡しすれば市内のほかの先生に資料が渡ります。市の研究会を活用していただければよいと思います。また、理科の関係については理科の先生にお渡しすれば他の先生に資料が渡ります。

②平成27年度各館事業計画（案）

各館長が説明（資料—3）

【質 疑】

【委員】 各館で、幼稚園とか保育園とか、小中学校とかに来館していただく方法・手段ですが、中津川市は広くなったので遠い所の生徒さんをいかにして連れて来るための配慮があるのかについて教えてください。

【事務局】 子ども科学館の場合、授業の一環として来館されます。特に市内については、バスで消防署見学と合わせて子ども科学館に来館するか、土岐市とか恵那市の場合は電車を使って、生活科の一環として来館される場合が多いです。

【事務局】 鉱物博物館ですが、小学校は授業の一環で来ていただいています。人数が多いのでバスで、来ていただいていることが多いです。

【委員】 そうすると、例えば加子母の子がここへ来ようとする、歩いて来られるわけではなく、何か乗り物で来るわけですね。

【事務局】 バスになります。

【委員】 そういったものは、学校が負担してくることになるわけですか。

【事務局】 市有のバスがありますので、それを使って来られるところが多いです。

【委員】 私立の幼稚園・保育園はスクールバスを持っていますから、こういったところへ連れて来るにはよいですが、そういった幼稚園・保育園とタイアップしてやれば、地方の方は動員もできるし、そういう企画もいのように感じます。

やはり心配していたのは、阿木とか加子母とか付知といった地域まではたして万遍なく利用できているかということです。市として配慮すべきではないかと思えます。そうすればこういった館ももっと活かされると思えます。

【事務局】 たしかに、阿木とか加子母とかは来ていただいていることが多いです。

【委員】 極端なことを言うと、不公平が生じているわけです。やはり市内に立派な施設があれば、当然見学に来た小さい子にインパクトを与えるわけですから、万遍なく利用していただけるようにすべきではないかと思えます。

【委員】 地方の方はスクールバスが必需品で各学校に必ずあるので、学校行事としてはスクールバスを出していただいていたのですが、最近それが厳しくなっています。縛りが強くなって、しっかりした行事でなければ出していただけないような状況になってきています。例えば保護者が何か企画したいというときは出せない状況です。

【委員】 学校行事なら大丈夫でしょうか。

【委員】 それなら大丈夫です。

【委員】 土岐市の幼稚園でいろいろ教室を行うときには、父兄が企画されてきました。その時は比較的親が中心となって、子ども一人に親が一人来ている状況でやっていますから親が連れて来ていました。

例えば子ども科学館へ見学に来るときバスが使えればいいですが、そうでなければ保護者が連れて来ることができるようになればいいね。授業の一環としてバスが使えればいいですが。

【委員】 今まで加子母では、例えば社協で遠足等に出かけるときは気軽に出していただけましたが、今は保育園で企画することにも縛りが出てきました。

今まで東山動物園へ遠足に行くことが定例であったのが、市外へ出るこ

とは難しくなり、保護者の主権に変えればできるという状況になりました。それも園の行事としては出来ないので、休みの日に自由に親がやるようにしてくださいと言われました。

だんだん公共のものが使いにくくなっているのも、もっとそういうことを柔軟にしていただけると、不便な地域に住んでいる子供たちのためにも活用できます。

また、親があまりにも遠い所へほかの子供も乗せて車を出すことは安全の問題が起こって来るので、ある程度金を出して保険をかけてでも、公のバスを使わせていただけるといいなと思うことがただあります。

例えば、何人単位で申し込めば各館でも送迎しますよ、というようなことがあれば、また話の持って行き方、こういう企画もできますよということが言いやすいと思います。

【委員】先生方の授業の中で、博物館の方へ来てという話がありましたが、先生方からすると、例えばバスが送り迎えしていただけたとしても、割と時間がかかってしまうので、なかなか館まで足が向きにくいという現実もあります。

先ほど言われたような「出前」ということも良くアピールしていただいて、そういうことで市内でも、遠い学校でも同じような勉強ができるといいなと思います。

【文化スポーツ部長】まず各博物館の内容を皆さんに知っていただくことが一番良いと思います。カリキュラムの中に入れていただくことがベストですが、それも学校教育の中ではなかなか難しい現実もありますし、バスに関しましてもどこかの鑑賞会の帰りに寄っていただくとか、そういう取組もしていただくところもございます。

スクールバスは非常に難しいと思いますが、先ほど心の旅路館で総合事務所のマイクロバスを使って展示期間中にバスを出すとか、そういうことを地域の皆様の要望を聞きできるところからやっていけば、多くの方々に中へ入っていただくことに繋がると思っています。

27年度を検討期間として、すぐできるわけではございませんので色々な取り組みを出して、できることからやっていきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

【委員】いろいろなイベントを計画されておられると思いますが、毎回新聞社へは確実にこういうことをやっているというような連絡をしていただくと良いと思います。記事にはなかなかならないにしても、新聞社も記事がない時はそういうことにもすぐ飛びついて、しかもタダでいろいろ広報していただけますので、自分の所でお金を使ってチラシを作らなくても博物館のことを宣伝していただけます。

ちょっとしたことでもよいので、例えば中津高校生のボランティアとか、博物館20周年記念のクラシックコンサートなんかはなかなか聞こえ

	<p>の良いことで、新聞社なんかはすぐ飛びつくと思います。とにかく毎回イベントがあるときは、新聞社へファックスでこういうことをやっていますと連絡すれば、写真を載せてもらえることもあります。</p> <p>皆さんは広報誌より新聞紙は見られますので、ああこういうことをやっていると思われたいと思いますので、続けていただきたいと思います。</p> <p>【事務局】 本当におっしゃる通りだと思います。毎月の定例記者会見ではその月の行事予定は入れてあります。</p> <p>昨年11月の無料デーに初めてチラシを配布させていただきましたが、効果は非常に大きく各館大勢の方に来館していただきました。本当に新聞、チラシの効果は大きいので今後とも気を付けていきたいと考えています。</p> <p>【議長】 その他でございませんか。</p> <p>【事務局】 25年度年報を配布させていただいておりますのでご覧になってください。お願いします。</p> <p>【議長】 それではこれで平成27年度第2回博物館等協議会を終了させていただきます。お疲れ様でした。</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度各館事業報告 資料－1 ・平成27年度文化スポーツ部の方針と重点（案） 資料－2 ・平成27年度各館事業計画（案） 資料－3 ・博物館等年度別入館者数一覧 資料－4
<p>管部課</p>	<p>中津川市鉱物博物館</p>